日本橋 室町 HONEN MAMPUKU JUKU

豊年萬福塾

豊年萬福 塾
塾長・小泉武夫

日本橋から。日本橋へ。

昨年５月、新しいスタイルの文化情報発信型飲食店として、
日本橋の東側、川沿いに誕生した蔵造りの〈日本橋室町 豊年萬福〉。
五街道の起点・日本橋の地にふさわしく、日本全国の隠れた味や技を
飲食で楽しんでもらうのはもちろん、物販や講座などでも紹介してゆきます。
また今年３月には、東京都が推進する社会実験の第一号となる「かわてらす」も増設され、
ユニークな存在として新しいランドマークになりつつあります。
文化情報発信の中軸として、昨年７月より開催されているのが〈日本橋室町 豊年萬福塾〉です。
小泉武夫氏を塾長に迎え、「日本橋から。日本橋へ。」をテーマに講座を展開。
開講一年目は【食の実験室 日本再発見！ 味見プロジェクト】と題し、
季節ごとに食材を取り上げ、講座に加え試食・試飲で食への理解を深めました。
二年目の今期は、日本橋とゆかりのある“地”を取り上げ、
食を中心にその地の魅力を発信する【ゆかりの地】シリーズほかにも、
江戸にまつわる食事情をさまざまな切り口で紹介・再現する講座も開催いたします。

第十六回：10月25日（土）14時～15時30分

「浮世絵随談――浮世絵にみる江戸っ子の食べ物」

講　師：新藤茂［浮世絵アドバイザー・国際浮世絵学会常任理事］

本講座会場である『日本橋室町 豊年萬福』の屋号は、『豊年万作之圖』という浮世絵に、江戸時代から商業の街・日本橋を見守ってきた氏神様である福徳稲荷が登場することにちなんで名付けられた。その浮世絵を見つけ出した人物こそ、浮世絵アドバイザーの新藤茂氏なのだ。新藤氏による『豊年万作之圖』の解説と、さらに〝浮世絵の江戸っ子たちは何を食べているのか〟をテーマに、様々な切り口で楽しく解説していただく。試食は日本橋魚河岸ゆかりの東京湾の幸などをたっぷりめにご用意！　ぜひご参加ください。

新藤茂さん

『豊年万作之圖』

第十六回「浮世絵随談――浮世絵にみる江戸っ子の食べ物」のお申込みについて

■参加費　1人3000円
※試食代込
※参加費は当日、講演会場にて現金で頂戴いたします。

■募　集　50名

■会　場　豊年萬福

月刊日本橋 編集部まで、お電話でお申し込みください。定員になり次第締切。

☎03-6202-1221
月刊日本橋編集部（平日10時～18時）

日本橋室町 豊年萬福

中央区日本橋室町1-8-6
☎03（3277）3330

あたたかみを感じる木調の設えと、行灯ふうの照明。壁面には浮世絵を映し、日本橋の古写真などの展示も。一階には常設のスクリーンがあり、講演会などのイベントが開催できる一、二階共に日本橋川に面したテラス席を用意